

今川義元公入門講座!!

監修：小和田哲男（静岡大学名誉教授） 制作：今川さん製作委員会 漫画：東京モノノケ



ただのぶとら むすめ じょうけいいん
武田信虎の娘（定恵院）

十八歳の時に甲斐から嫁いできた、義元の正室。弟は甲斐の虎・武田晴信（信玄）。

既読 1536/5/3

オレ、今川の家督継ぐから將軍の一字ちょうだい!

いいよ~

義元は相續の正当性を証明するものでもあった!

これは相續の正当性を証明するものでもあった!

通字である「義」を与えられたのは特別の証だな。しかしそれにしてもノリが軽いのか...

※通常、臣下には「偏諱（名前の一字）」を与える。普通は下の字。「通字（上の字）=義」は、足利一族に伝わるより重要な字とされていた。

駿河国主・今川義元の誕生である。

天文五年（一五三六）
花倉の乱に勝利した梅岳承芳は家督を継ぎ「義元」と名乗るようになる。

若造が裏切りおって!

相模・北条氏綱

氏輝の代までは北条と手を組み戦っていた武田と婚姻を結ぶという外交政策の大転換であった

氏輝の代
義元の代

天文六年、義元は甲斐の武田信虎の娘と結婚。

しかし、若き日のこの経験が後の義元の外交政策につながっている!

もともと勉強しなくては...

いっかがい合えるぞよいぞすねえ

うざく!

それは河東一乱と呼ばれ駿河国主としての最初の試練だった...

ちーん

怒った北条の勢いは凄まじく今川は富士川より東の地域を制圧されてしまった!

駿河
富士川
遠江